

平成30年度 エンパワメントプログラム 修了



8月20日(月)から24日(金)までの五日間にわたり、エンパワメントプログラムが本校にて開催されました。今年は48名の1年生の生徒が参加し、アメリカの大学生や国内の留学生9名を迎えて、身近なテーマからより大きなテーマまで英語でディスカッションをし、プレゼンテーションをしました。



ファシリテータによるガイダンス

海外の大学生紹介・挨拶

1日目 プログラム初日は英語コミュニケーション力を高める活動を通して、ポジティブシンキングの重要性についてグループでディスカッションを行いました。海外からの学生と英語でコミュニケーションをとることに懸命で、生徒たちは緊張した面持ちでしたが、ポジティブシンキングについて一緒に考え、その重要性を実感していました。



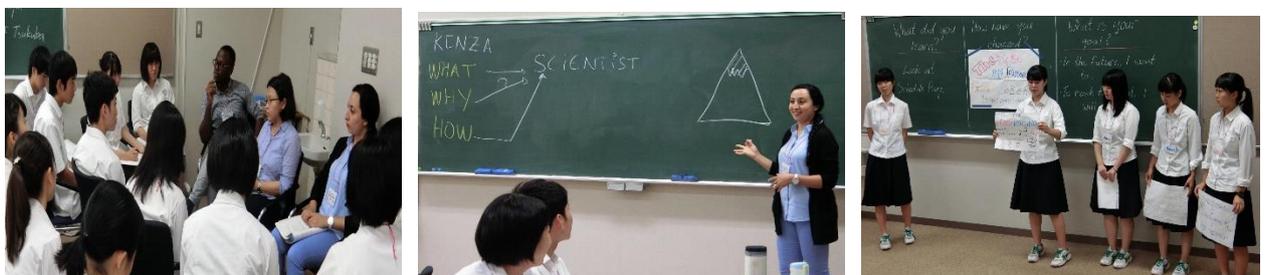
2日目 生徒たちは少しずつ雰囲気をつかみ、学生のアイデンティティのプレゼンテーションを聞き、自分の「アイデンティティ」について考え、英語で表現しました。これまで自分の「アイデンティティ」について考える機会を持ってこなかった生徒も、初日に学んだポジティブシンキングの重要性を踏まえて、自分自身と将来について考え、発表することができました。ランチタイムには書道体験をしてもらいました。



3日目 3日目には英語での自己紹介がスムーズにできるようになり、活動中も発表の時も笑顔が多くみられるようになりました。また、間違いをおそれずに積極的に質問し、意見を述べようとする姿勢も見られるようになりました。昼食時には茶道部によるティーセレモニーが開かれ、学生たちは興味深く日本文化を体験していました。



4日目 日本と海外の大学システムについてディスカッションを行いました。学生たちがそれぞれの大学と今後の進路について語り、多くの生徒が彼らの進路に関心を持って聞き入り、自分の目標について考えました。午後は日本と世界の子供の貧困問題に対する方策について考え、ポスターと劇でグループ発表を行いました。初日には見られなかったグループの連携と助け合い励まし合う態度が見られ、笑顔で発表を終えることができました。



最終日 プログラム最終日は、本プログラムを通して学んだこと、変化したこと、自分の目標について1人1人がプレゼンテーションを行いました。48名全員が堂々と自分の考えや思いを発表しました。全体に向けての発表は初めてでしたが、臆することなく発表し、自信と達成感、さらに今後の自分の進路を明確にし、修了することができました。



みんな堂々と発表しました。